

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373001375
事業所名	グループホームあさがお

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し地域の祭り、ゴミ拾いを兼ねた地域のパトロール、神社の清掃に入居者も一緒に参加している。地域では初のグループホームということもあり、認識がないため地域の行事に参加し入居者と共に交流を深めていった。地域の福祉担当者が地域とのパイプ役を務めてくれている。そのお陰で災害時の共助体制作りのきっかけができた。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	メンバーは自治会代表、組長、地域包括支援センター職員、民生委員、職員であり、奇数月に開催している。ホームの避難訓練に地域住民の参加を運営推進会議で呼びかけたところ、地域自治会も初めてなので、何を手伝えばいいのか分からなかったとの声があった。震災時には耐震構造のホームが地域の避難拠点となるべく心がけ、地域からも期待されている。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には地域包括支援センター職員が必ず参加している。地域には他にホームがなく、認知症啓蒙の拠点がなかったため、同会議でホームが手を挙げ、認知症講習会を地域包括支援センターと共に計画している。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族には月1回は入居者の近況を写真入りで報告し、来訪時にはケアの要望を聞いている。車いすの入居者が「リフト浴なら入浴することができる」という家族の希望を叶えるため、この度の移設で併設している小規模多機能施設にリフト浴を新設し利用できるようになった。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。